

## 霧島山(新燃岳)の地震活動・地殻変動\*

### Seismic activity and crustal deformation of the Kirishima volcano (Shinmoe-dake)

防災科学技術研究所\*\*

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

2015年5月1日から2015年12月31日までの期間における地震活動と地殻変動について報告する。

図1は防災科研火山観測網の定常処理でおこなっている震源分布図である。韓国岳近辺では、地震活動(図1点線枠内)が2013年末以降から継続して発生している。

図2は同期間の基盤的火山観測点(KRMVとKRHV)の傾斜変動図である。韓国岳近辺の地震活動や火山活動に関連するような地殻変動は認められなかった。

図3のGNSS解析結果によると、新燃岳をはさむ基線(KRHH-KRMV)では、2015年6月以降顕著な変化は認められない。

---

\* 2016年5月6日受付

\*\* 上田英樹, 棚田俊收, 宮城洋介, 藤田英輔, 長井雅史

Hideki Ueda, Toshikazu Tanada, Yousuke Miyagi, Eisuke Fujita, Masashi Nagai

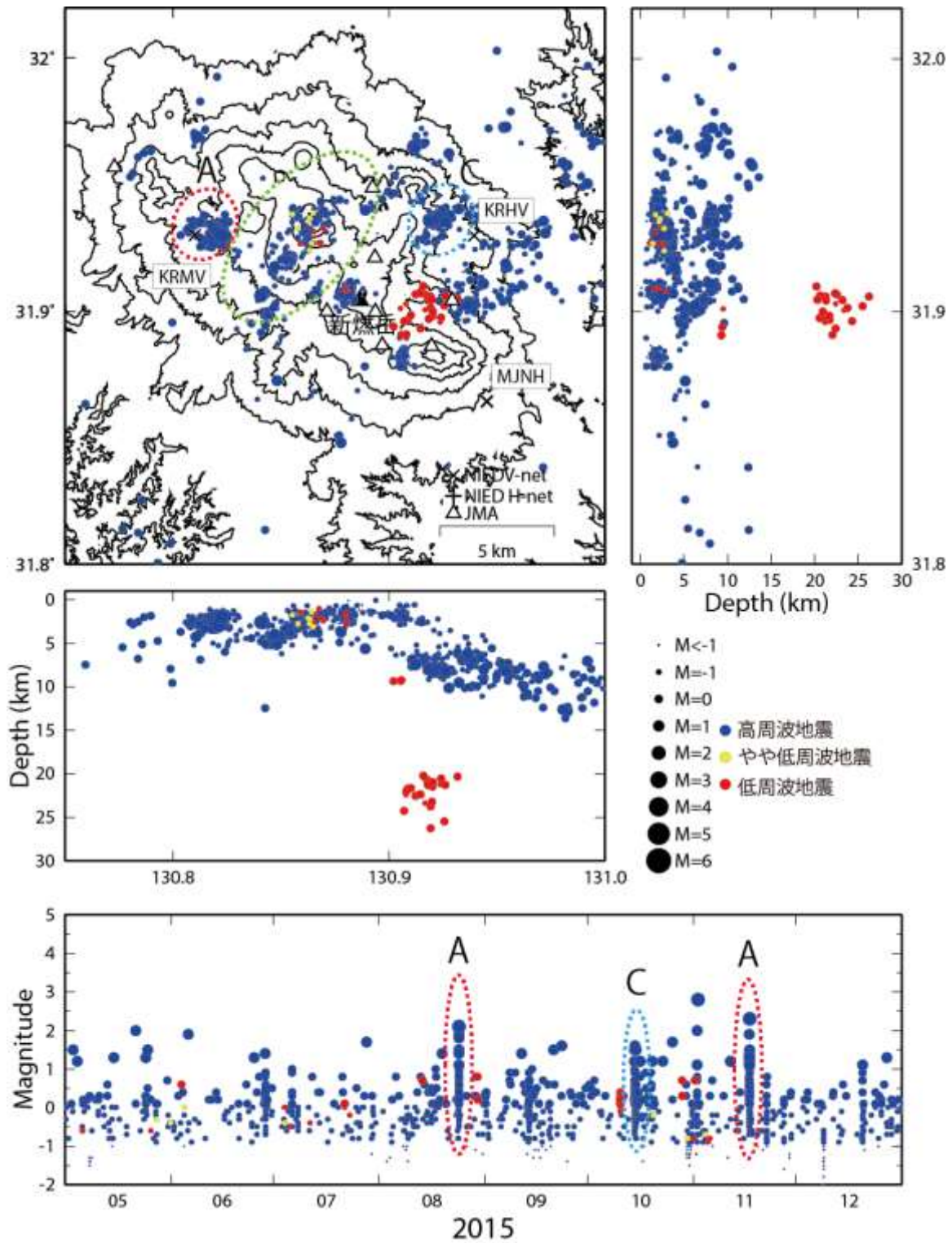


図1 霧島山の震源分布図(2015/5/1~2015/12/31)

この地図は、国土地理院発行の数値地図 50m メッシュ (標高) を使用したものである。

Fig.1 Hypocenter distribution around Kirishima Volcano(2015/5/1~2015/12/31).

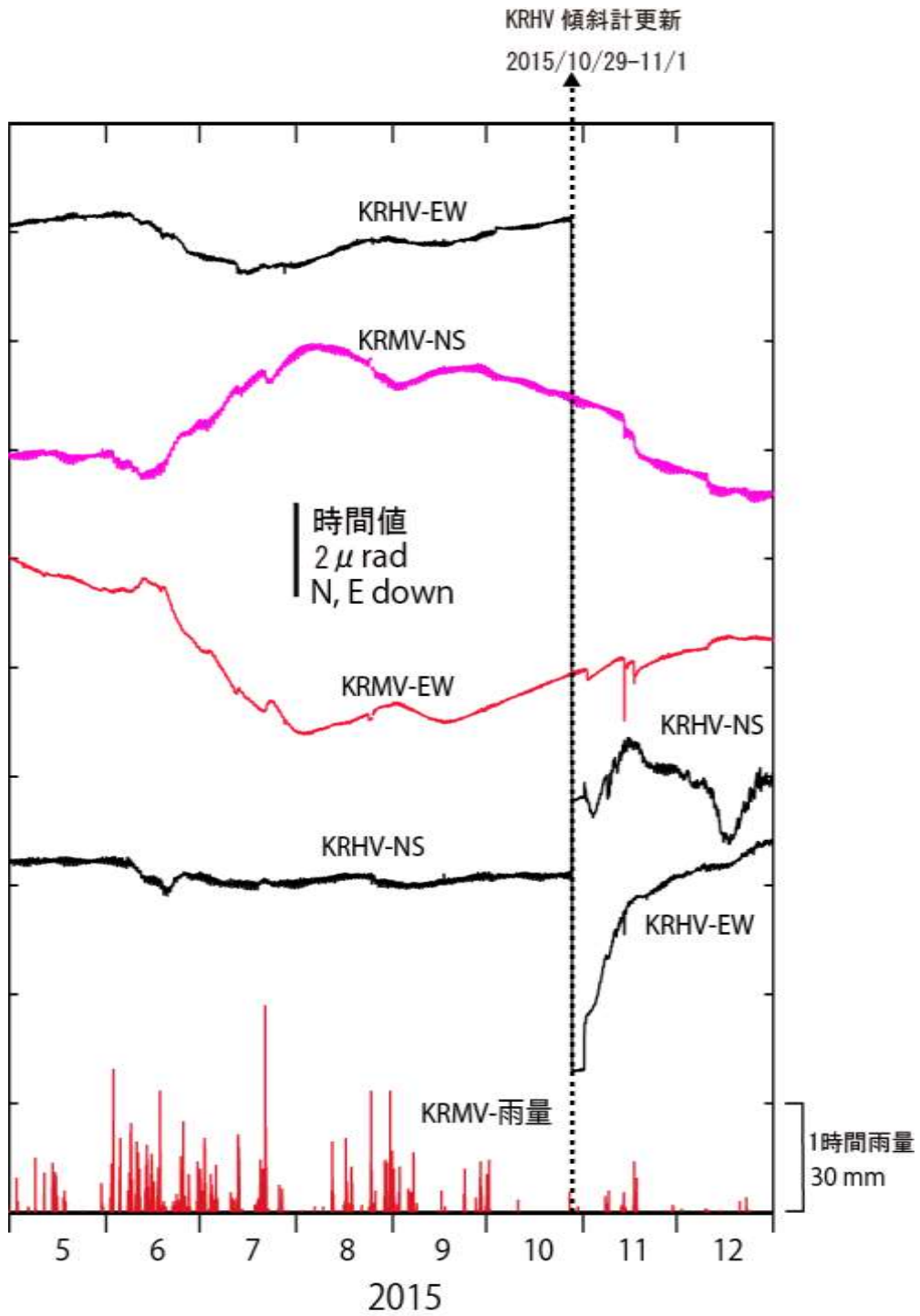


図2 防災科学技術研究所による傾斜変動観測結果(2015/5/1~2015/12/31)

Fig. 2 Tilt change of NIED tiltmeter (2015/5/1~2015/12/31).

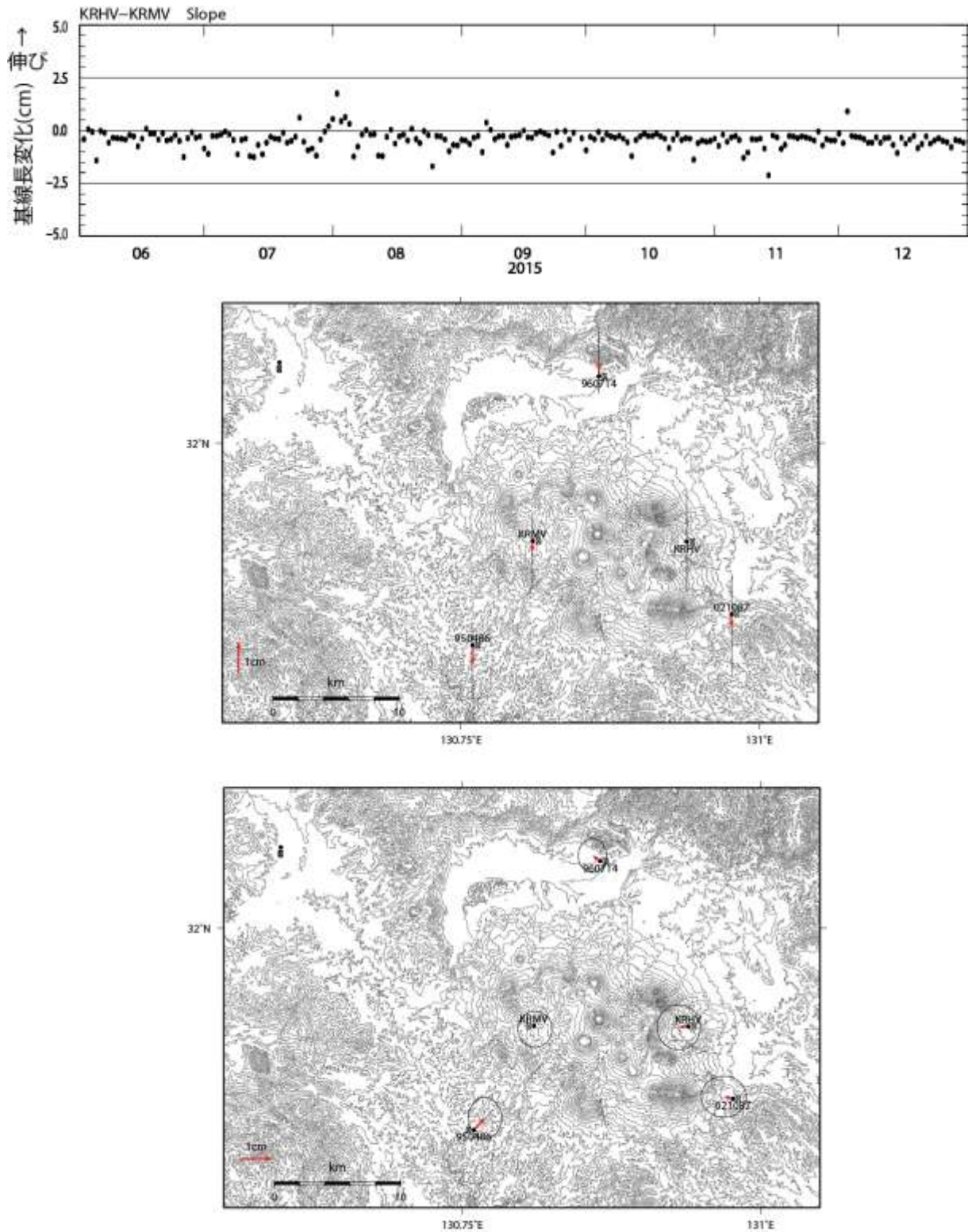


図3 (上段) 防災科研 KRHV と KRMV との間の基線長変化図  
 (下段) 防災科研の GNSS と国土地理院 GEONET の統合解析によって得られた地殻変動  
 Fig. 3 (Upper) Baseline length change between KRHV and KRMV of NIED.  
 (Bottom) Observed displacement vectors at GNSS stations of NIED and GSI relative to Ooguchi(950485) for the period from June 1, 2015 to December 31, 2015.